科目名	65.子どもと看護援助				
履修年次	２年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	１単位 （３０時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	地域で生活する子どもの実際を知ることができる 子どもの援助の特徴がわかる				
到達目標	１）地域で生活する子どもの実際と対象を支える看護師の役割について表現することができる ２）子どもに関心を持ちながら、既習の知識や技術を活用して基本的な援助方法を表現できる				
評価方法	筆記試験（50点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（50点）による総合評価を行				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学（１）　小児看護学概論・小児臨床看護総論　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学（２）　小児臨床看護各論　医学書院				
参考文献	写真でわかる小児看護技術　改訂第３版　インターメディカ 看護実践のための根拠がわかる　小児看護技術　メヂカルフレンド社				
教育方法と学生への期待 (求めること)	１）調べ学習を通して子どもの生活や現状を知ることで小児看護師の役割を考えられるようにしてほしい。学びとは、与えられるものではなく、自分でつかみ取るものです。主体的に演習に臨んでください。 ２）子どもと接する上で発達段階の理解は欠かせません。今までに学んだ知識を活用しながら、小児への関わり方を考え実践してほしい。 ３）時間内に演習準備などを行う時間を設けて、目的・内容の把握を行います。積極的に取り組んで学びを深めましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	子どもの療育環境	子どもの成長発達に応じた環境とは 子どもに影響を及ぼす環境因子 子どもの療養環境に対するシミュレーション	講義 演習
2	子どものアセスメント① 身体計測	身体計測 成長・発達の評価	講義 演習
3	地域で生活する子どもの実際	実態調査に向けた準備 子どもが生活する環境・子どもの現状、社会の変化と小児看護　などから調査のテーマを決定する	講義 演習
4	実態調査	グループで決めたテーマに合わせて、調査する場所の選定を行い、アポイントメントをとることやネット検索を行う	講義 演習

5	実態調査	グループで決めたテーマに合わせて、実地調査やインタビューを行う	講義 演習
6	地域で生活する子どもの実態調査に関する報告／まとめ	実態調査の結果を発表する	講義 演習
7	子どもの成長発達に応じた援助の必要性 子どもの関わり	子どもの成長発達に応じた援助の必要性 子どもの気持ち・見方を知る	講義 演習
8	子どもの検査	検査・処置を受ける子どもの看護 腰椎穿刺他	講義 演習
9	子どものアセスメント演習準備	演習を行うための基礎知識の確認と準備	講義 演習
10	子どものアセスメント② バイタルサイン	子どものバイタルサイン測定に対するシミュレーション 成長発達に応じた関わり プレパレーションを用いた関わりの工夫	講義 演習
11	子どもの与薬①	子どもの与薬・薬物動態の特徴 輸液管理	講義 演習
12	子どもの輸液管理①	シーネ固定の目的・事例配布 プレパレーションの準備	講義 演習
13	子どもの輸液管理②	輸液管理：シーネ交換	演習 (実習室)
14	子どもの輸液管理③	輸液管理：輸液ポンプとシリンジポンプ	演習 (実習室)
15	まとめ	振り返りテストとまとめ	講義 演習